

IBC (アイス・バケツ・チャレンジ) グラント

**平成 27 年度 患者等支援活動助成**

**事業終了報告**

事業名

介護職員等によるたん吸引等の実施のための

第 3 号研修会

事業代表者名

三保浩一郎

助成金額

300,000 円

①活動実施内容：中間報告・終了報告ともに必須

(助成事業の具体的な活動実施内容、事業の成果等について経過を追って記載してください。)

【第1回】

- 研修会開催まで：平成 27 年 9-11 月
  - 研修会会場を確保した。
  - 事業者等へ開催通知を郵送し、受講生の募集を開始した。
  - 申込書および必要書類は日本 ALS 協会広島県支部 HP からダウンロードできるように設定し、事務作業の簡素化を図った。
  - 担当者会議を開催し、役割分担と必要物品の購入など研修会の準備を行った。
  
- 基本研修開催当日：平成 27 年 11 月 22-23 日
  - 介護職員等によるたん吸引等の実施のための第 3 号研修の基本研修を実施した。
  - 17 名の研修生から応募があり、そのうち 11 名は実地研修も希望している。
  - 基本研修終了時の筆記試験は全員合格となり、基本研修修了証明書を発行した。

【第2回】

- 研修会開催まで：平成 28 年 6-8 月
  - 研修会会場を確保した。
  - 事業者等へ開催通知を郵送し、受講生の募集を開始した。開催地三原市からの応募者がいないため、関係各所に連絡したところ、医療的ケアを実施している事業所が 1 施設のみであった。地域を拡大して受講生募集を実施した。
  - 申込書および必要書類は日本 ALS 協会広島県支部 HP からダウンロードできるように設定し、事務作業の簡素化を図った。
  - 当事者として三保会長にご講義いただくようにプログラムを変更したり、担当者が開催場所へ移動する手段を確認するなどの会議を開催し、研修会の準備を行った。
  
- 基本研修開催当日：平成 28 年 9 月 3-4 日
  - 介護職員等によるたん吸引等の実施のための第 3 号研修の基本研修を実施した。
  - 15 名の研修生から応募があり、当日 1 名欠席となり 14 名が受講した。
  - 基本研修終了時の筆記試験は 1 名不合格となったが再試験を実施し、全員に基本研修修了証明書を発行した。
  
- 実地研修
  - 実地研修希望者は利用者の状況に応じて随時実施している。

②終了までの予定：中間報告の場合は必須

(助成事業終了までの活動予定等について経過を追って記載してください。)

③事業の成果物と終了後の計画：終了報告の場合は必須

(事業終了の成果を今後の活動にどのように活かすのか、できるだけ具体的に記載してください。成果物について記載したうえで、報告書に添付してください)

本団体は医療的ケアの必要な ALS 患者等が在宅療養に支障を来さないことを目的に、平成 25 年から第 3 号研修 (特定の者) に限定し医療的ケアを提供する介護職員等へ痰の吸引と経管栄養の研修を行っている。その結果、特定行為業務従事者として、約 100 名の受講生に修了証明書を発行してきた。本助成金事業においては新たに 31 名へ基本研修修了証明書を発行できた。ALS および吸引等医療的ケアを必要とする在宅療養者の支援のために研修事業の意義は大きく、一人でも多くの特定行為業務従事者を育成するために努力している。しかし、広島県下の一部の地域で未だ介護事業所が医療的ケアを担っていない現状が発覚した。地域包括ケアシステムが導入され療養の場は在宅へ移行しているが、在宅での療養環境は整備されず、過重な家族負担になっていることが予測できる。

今後、広島県内において在宅療養者における医療的ケア実施の実態を調査し、生活の質に格差を生じているか検討する。さらに、本研修事業を継続し慣れ親しんだ地域で在宅療養を希望する患者の QOL を維持する必要がある。

報告者 氏名 岡田 淳子

住所 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_